
あの戦争とは何であったのか・・・

山口多聞

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あの戦争とは何であつたのか・・・

【Nコード】

N1935N

【作者名】

山口多聞

【あらすじ】

太平洋戦争終結から65年。あの戦争における膨大な死は何であつたのか？

あの悲劇的な太平洋戦争（大東亜戦争、第二次世界大戦、15年戦争などありますが今回はこれで統一します）が終結（とりあえず日本はこの日なので）してから65年の月日が経ちました。

既にあの戦争を知る世代も少なくなり、知っていたとしても当時は子供であつたために、残される証言や記録も限られた物となりつつあります。

日本だけで200万人以上、世界中で5000万人以上と言われる人命を犠牲にしたあの戦争とは、一体何だつたんでしょうか？

確かに、あの戦争によって独立を勝ち取った国もあれば、独立に弾みを付けた国もありました。そうした面では良かったと言えるかも知れませんが日本においても、その後の平和な時代と経済的な繁栄は、あの戦争における膨大な犠牲の下で成り立っていると言う人がいます。

しかしながら、あの戦争によって悪い方へと動いてしまったことも数多くあつたことも事実です。世界はイデオロギーによって真つ二つに割れ、また新たに独立した第3世界の登場は、新たな対立の火種となり、現在に至るまで尾を引いています。

何より、あの戦争によって命を落とした人にとってはどのような物だつたのでしょうか？そしてその人たちの死とは何だつたのでしょうか？

国のためでしょうか？家族のためでしょうか？愛する人のために

しょうか？それとも自分のためでしょうか？・・・そもそも、意味のある死などあるのでしょうか？

現代に生きる私たちは、歴史を知る者の視点から歴史を評価します。当たり前と言えば当たり前です。しかしながら、評価される側にとってはたまった物ではないかもしれません。自分たちは後の時代の人間から好き勝手言われるために死んだのではないと、言われてしまうかもしれません。

結局の所、あの戦争で死んだ人々の死とは、単なる人の死に過ぎないかもしれません。人間が単に鼓動を停止し、思考を停止し、生きることをやめただけかもしれません。

もちろん、その死に方は色々違うでしょうし（原爆で一瞬で死んだ少女と、戦場で弾を受けて長く苦しみながら死んだ兵士の死に方が同じと思う人はいないでしょう）、死ぬ間際に何かを思っただかかもしれません。しかし死んだ人自身が死ぬ間際に何を考えたかなど、私にはわかりません。わかるはずがありません。そして死んでしまえば、終わりなのです。

仮に何か想いを託したとしましょう。しかしながら、本人が死ねばその想いはどうなりますか？どう考えてもその人に見てみれば、死んだ（もしくは殺された）に過ぎないのではないのでしょうか？

ではあの戦争での死は意味の無い、無駄なものかと言えば、そうではないと思います。死んだ人に見てみれば、自らの命が絶たれたに過ぎません。しかし、残された人々はその人の死を悼み、その人の犠牲を無駄にしないと考えるでしょう。

そう、その人の死の意味。それをどう決めるかは残された人々に

掛かっているのではないのでしょうか？先ほど書いた想いも、生かすか殺すかは残された人の役目なのです。

あの戦争における膨大な犠牲を、単なる無駄な殺人の犠牲であつたか、それともよりよい未来を作るための教訓とするかは、私たち自身の手にかかっているのではないのでしょうか？

（後書き）

連載小説が全く進められないので、短編でお茶を濁しました。

なお、当作品は別に死者を侮辱しようとかそんなことは一切ありません。作者は全ての死者の御冥福を祈っています。

ただ、その死を無駄にするかしないかは・・・それを考えて書きました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1935n/>

あの戦争とは何であったのか・・・

2010年10月10日17時02分発行